

Twitterで、動画ツイートとして投稿する宣伝用ボイス。

そのため、頭の空白は他のトラックより短く、一秒程度にする。

シチュエーションとしては『01・智絵里と真夏の白昼夢』の前夜。智絵里、主人公と、通話している。

二人はすでに『ゲーム』を終え、引き分けに終わった。

しかし智絵里はこれを『自分の負け』と判断し、明日は主人公のお願いを聞いてあげることにしている。

対する主人公は、明日も智絵里宅に遊びに行く予定。

しかし、具体的に何時から会いに行くかは、伝え忘れてしまっていた。なので確認のため、智絵里の方から連絡してきた。というイメージ。

しかしこれは『通話しているシーン』ではなく『通話っぽいシチュエーションのPRボイス』である。

なので、本編ではありえない『初対面の相手に、自己紹介として、フルネームを名乗る』という事も起ころる。

基本的には両側から音声が聞こえるし、電話加工も行わない。

しかし、智絵里がこの状況にどこか違和感を覚えている演出はある。

【全体的に嬉しそうに、弾んだ声で。】

『鹿島』と『智絵里』で一呼吸あける。

智絵里は基本的にテンションが低く、淡々と、落ち着いて喋る少女である。

しかし、主人公に対しては常に比較的声が明るく嬉しそうで、時に少し意地悪そうに話す。

逆に言えば『ずっと機嫌がいい』ので、あまり声の大きな変化はない】

鹿島 智絵里（かしま ちえり）。

【くすくすと嬉しそうに。】

『今、なぜかフルネームを尋ねてきたけれど、あなたは当然知っているよね？』という感じで。

前述の通り、『幼馴染に対して改めてフルネームを名乗る』というのは、現実には考えにくいシチュエーションである。

宣伝用なのでそのあたりは考慮しないはずで、智絵里自身も無意識に名乗った。

だが『なぜか名乗つてしまつた』事を少し不思議に感じ、それが面白くなつてしまつて
いる。なので、笑っている。

なお『え』の語尾は上がらない】

え。知つてるよね。ふふ♥

【にやにやと甘い声で。

さらりと話題を変える。

とにかくこの話がしたかつたので。

また、主人公もこの件について、早く知りたいだろうと思つてている】

ねえ。あの服ちやんと着れたよ？

【『あの服』を着ていた頃から身長が伸びていないので、問題なく着られたが、それもな
んだか可笑しかった】と言いたい。

智絵里は基本的に、主人公に関わる事をなんでも面白く、愉快であると捉える】
全然背え伸びなくて笑つちやつた。

【またも、さらりと話題を変える。

とにかくこの話がしたかつたので。

これによつて聞き手には『気まぐれ』『マイペース』な印象を与えるが、実際は一刻も
早く主人公と会いたくて、それは何時からになるのかを知りたいだけ】

ねえ明日（あした）つて何時（なんじ）に来る？ 昼には来れそう？】

〈主人公〉

「できるだけ早く行くよ。十時には行けると思う」

「声が弾む。

『思つていたよりも、早く会えそうだ』『主人公が努力して、できるだけ早く自分と会おうとしているようだ』とわかつたので

ほんと？ わかつた♥

【少し間をあけてから。

変わらず機嫌がいいままだが、どこか含みを持たせる】

じやあ、待つてる。

【少し間をあけてから。どこか含みを持たせて。

この『約束』は『待つてる』ではなくて『負けた方は勝った方に絶対服従』にかかる】

約束だもんね。

【少しゆっくりめに、主人公にこの事実を言い聞かせるように。

まるで智絵里が『勝つた方』であるかのように話す。

聞き手にもそのように勘違いさせる事が狙い】

負けた方（ほう）は勝つた方（ほう）に絶対服従。

【ひそひそと甘く、ささやくように話して主人公を煽る。】

【ここで実際は智絵里が『負けた方』である事が判明し、その上刺激的なセリフをささやく事で、聞き手をドキッとさせるのが狙い】

【どんな事でもさせてあげるよ】

〔主人公〕

「…………！」

【満足げに可愛く笑う。愉快でたまらない。】

【主人公が露骨に興奮しているのが伝わってきたので】

ふふふふつ♥

【ここでフェードアウトして終了。】